

2026 年 9 月 3 日

エバラ食品工業株式会社

エバラ食品グループのエバラ物流 自動運転トラック・貨物鉄道のモーダルコンビネーションで エスビー食品・オタフクソース輸送へ 業界初、複数社の製品を共同輸送し効率化も検証、商用運行参画を視野に4社連携

エスビー食品株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 CEO：大久 陽子、以下「エスビー食品」）、オタフクソース株式会社（広島県広島市、代表取締役社長：佐々木 孝富、以下「オタフクソース」）、エバラ食品グループの株式会社エバラ物流（神奈川県横浜市、代表取締役社長：由田 靖尚、以下「エバラ物流」）、および株式会社T2（東京都千代田区、代表取締役 CEO：熊部 雅友、以下「T2」）の4社は2026年9月、自動運転トラックと貨物鉄道を組み合わせて輸送する「モーダルコンビネーション」の実証を関東―中国エリア間で行います。

物流業界で初めて（※1）上記のモーダルコンビネーションにより複数社の製品を往路・復路で分けて共同輸送することにより、トラックドライバー不足に対応できる効率的な輸送モデルが実現可能かも検証します。



トラックドライバー不足が深刻化する中、トラック・鉄道・船舶・航空機など複数の輸送手段を組み合わせる「モーダルコンビネーション」は、持続可能な物流を実現する手法のひとつとして期待されています。これを受けて、2027年度以降にレベル4（※2）自動運転トラックによる幹線輸送の開始を目指すT2と、日本貨物鉄道株式会社（以下「JR貨物」）は、T2が開発したレベル2（※3）自動運転トラックとJR貨物の貨物鉄道を組み合わせたモーダルコンビネーションを2025年より開始しました（※4）。

今回、エスビー食品およびオタフクソース、また両社の輸送を請け負っているエバラ物流が本取り組みに新たに参画し、2026年9月8日から4日間、関東―中国エリア間の約850kmの区間を往復し、モーダルコンビネーションの実証を行います。T2がJR貨物と共同開発した31フィート共用コンテナ（※5）を用いて▼往路はエスビー食品が関東エリアで製造している「赤缶カレー粉」「本生本わさび」などの商品を、▼復路はオタフクソースの「お好みソース500g」をそれぞれ輸送し、輸送品質やオペレーションを検証します。

各行程における輸送手段としては、往路は、▼エスビー食品の物流センター（埼玉県）からエバラ物流関西第2物流センター（大阪府）までをT2の自動運転トラック、▼その後、吹田貨物ターミナル駅（大阪府）から広島貨物ターミナル駅（広島県）までJR貨物の貨物列車で回送した空の共用コンテナを、▼オタフクソースの本社工場（広島県）まで通常のトラックで輸送します。

往路



復路



復路は、▼オタフクソースの本社工場で共用コンテナに荷物を積んだ上で、広島貨物ターミナル駅まで通常のトラックで運び、▼広島貨物ターミナル駅から吹田貨物ターミナル駅までを貨物列車、吹田貨物ターミナル駅からエバラ物流川崎物流センター（神奈川県）までの輸送をT2の自動運転トラックが担います。なお、レベル2自動運転区間（※6）は往路・復路ともに東名高速道路・綾瀬スマートIC（神奈川県）―名神高速道路・久御山JCT（京都府）間の約410kmになります。

本実証を契機に、エスピー食品、オタフクソースおよびエバラ物流は、レベル4を見据えて実証を重ね、T2が実証を経た企業に定期的な輸送を提供する「商用運行」（※7）への参画も視野に連携を深めてまいります。

- ※1 自動運転トラックと貨物鉄道を組み合わせて輸送するモーダルコンビネーションとして、複数社の製品を往路・復路で分け共同輸送する事例として。2026年9月3日時点のWEB調査。T2調べ
- ※2 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態
- ※3 ドライバーの監視のもとに行われる特定条件下での高機能自動運転
- ※4 本件に関するニュースリリース：<https://t2.auto/news/2025/0623.pdf>
- ※5 モーダルコンビネーションの際に貨物列車からT2のトラックへ直接載せ替えが可能な共同コンテナ
参考：https://note.com/t2_auto/n/n5230d792147f
- ※6 安全確保が必要な状況などではドライバーが一時的に運転操作
- ※7 本件に関するニュースリリース：<https://t2.auto/news/2025/0701.pdf>

■ 各社ホームページ

エスピー食品株式会社：<https://www.sbfoods.co.jp>

オタフクソース株式会社：<https://www.otafuku.co.jp>

株式会社エバラ物流：<https://www.ebabutsu.jp>

株式会社T2：<https://t2.auto>

本件に関するお問い合わせ

■ 報道関係の方のお問い合わせ

エバラ食品工業株式会社 広報 IR 部 広報課

TEL 045-226-0234 / FAX 045-650-9025 / ALL_KOUHOU@ebarafoods.co.jp